

◎ 「とうしんコレクション I ー所蔵品でみる美濃陶芸の世界ー」

とうしん美濃陶芸美術館 学芸員 與語 小津恵

とうしん美濃陶芸美術館は、東濃信用金庫が、地域の人材育成と美濃陶芸文化の発信を目的に建設した「とうしん学びの丘“エール”」の一施設として、2015年5月7日に開館いたしました。自生の大王松を囲むように建設された円形の建物は、通路側に大小47の展示ブース、中庭に石灯籠を配しており、和の趣を味わいながら、鑑賞していただける美術館です。オープンから間もなく4年となりますが、昨年からは年4回の展示入替を行いながら、人間国宝から若手作家まで様々な美濃陶芸作品を紹介しています。



とうしん学びの丘“エール”



美術館内展示室

「とうしんコレクション I ー所蔵品でみる美濃陶芸の世界ー」

今回の「とうしんコレクション I ー所蔵品でみる美濃陶芸の世界ー」は、所蔵コレクションの中から、重要無形文化財「瀬戸黒」保持者(人間国宝)である加藤孝造「志野水指」、鈴木徹「緑釉花器」などの伝統的な作品や、川端健太郎「Batista」など、個性豊かな造形作品を27点展示しています。



加藤孝造 作
「志野水指」



鈴木 徹 作
「緑釉花器」



川端健太郎 作
「Batista」

当館のコレクションの中心は、美濃陶芸作品永年保存事業の購入作品です。この事業は、東濃信用金庫が、昭和61年から行っており、今年で33回目になります。本事業は、美濃陶芸作家から永年保存するにふさわしい優秀と認められる作品を毎年度買い上げることにより、作陶への奨励及び美濃陶芸の発展、伝統工芸の後世への伝承を意図とし、地域文化の高揚と美濃焼業界の技術振興に寄与することを目的としております。今年度は、選定作品として、馬場康貴「structural vessel」、山口美智江「夢想一幻」、特別永年保存作品として、塚本快示「白瓷唐草文大皿」の3点に決まりました。



馬場康貴 作
「structural vessel」



山口美智江 作
「夢想-幻-」



塚本快示 作
「白瓷唐草文大皿」

馬場康貴の作品は、第11回国際陶磁器展美濃 2017 において「銅賞」を受賞した作品です。1991 年佐賀県有田市生まれ。2017 年多治見市陶磁器意匠研究所 セラミックスラボコース卒業。2018 年第 115 回有田国際陶磁展「熊本放送局賞」受賞。磁器の四角いチップを規則的な中に不規則性を交えながら、無数に重ね張り合わせ構築した作品です。

山口美智江は、1964 年愛知県生まれ。2006 年岐阜県多治見工業高等学校専攻科修了後、日本新芸芸展・女流陶芸展・菊池ビエンナーレなど受賞を重ねている作家です。女性の柔らかい体のラインを作品に生かし、しっとりとした質感の桃色の釉薬が特徴の作品です。

特別永年保存選定作品の塚本快示は、1912 年土岐市駄知町生まれ。1963 年日本伝統工芸展初入選。1964 年カルフォルニア博覧会で金賞を受賞するなど、国内外で活躍しました。1983 年重要無形文化財「白磁」「青白磁」保持者(人間国宝)に認定。1990 年逝去(77 歳)。この作品は 60 代後半に制作された作品で、勢いのある彫りで草花が施された直径 58 cm の大皿です。

「美濃茶碗展」

また、所蔵品の茶碗の中から、人間国宝 荒川豊蔵・鈴木蔵・加藤卓男や、新里明士など新しい感覚の茶碗 28 点を選び、「美濃茶碗展」として展示しています。



荒川豊蔵 作
「瀬戸黒茶碗」



鈴木 蔵 作
「志埜茶碗」



加藤卓男 作
「ペルシャ三彩胡姫茶盃」

荒川豊蔵(1894~1985)「瀬戸黒茶碗」は、内側に釉薬を掛け残した部分があり、三角に土の色が見え、それが景色となり、真っ黒な釉薬が美しい茶碗です。

安藤工「志野彩文茶碗」は、象嵌技法を用いています。志野の土に、とても細かな赤白の文様が施され、従来の志野茶碗の中に、新しい世界観を感じる作品です。

若尾経「青瓷茶盃」は、深く青い色合いの青瓷釉の下から、白い模様が見えてくる茶碗です。赤い土の中に白い土を混ぜ合わせ、ろくろで成形する練上げ技法によるものです。



安藤 工 作
「志野彩文茶碗」



若尾 経 作
「青瓷茶盤」



新里明士 作
「光碗」

とうしん美濃陶芸美術館では、年間4回程の「陶芸講座」を開催しております。「とうしんコレクション I」の会期中には「第12回陶芸講座 タッチ&トーク」を行いました。開館以来毎年行っている講座で、美濃陶芸作家を講師に招き、作品を手に取り鑑賞しながら、作家の制作に対する思いや技法について解説していただきます。また作家の作品に加えて、美術館に展示中の数点の茶碗も鑑賞していただくことができます。普段ガラスケースの外からみている茶碗を実際に触って試みるので、とても好評な講座となっております。

4月14日(日)まで、「とうしんコレクション I 一所蔵品で見る美濃陶芸の世界」を開催しております。ぜひゆっくりと美濃陶芸の素晴らしい作品の数々をお楽しみください。

とうしん
コレクション I
一所蔵品で見る美濃陶芸の世界

TOSHIN
COLLECTION I
2019
1.16(土) - 4.14(日) (入館無料)

とうしん美濃陶芸美術館
Toshin Mino Ceramic Art Museum

美濃茶碗展

2019 1.16(土) - 4.14(日) (入館無料)

「タッチ&トーク」
若尾 誠氏
黒岩 達大氏

2019年3月27日(土) 13:30-15:00

とうしん美濃陶芸美術館
Toshin Mino Ceramic Art Museum

とうしん美濃陶芸美術館
Toshin Mino Ceramic Art Museum

第12回 陶芸講座
タッチ&トーク
2019年
3/2(土)
13:30~15:00
参加無料 定員40名

とうしん学びの丘「エール」
コミュニティルーム

講師 若尾 誠氏 (公益社団法人 日本工芸会 正会員)
黒岩 達大氏 (公益社団法人 日本工芸会 正会員)

お問い合わせ > とうしん学びの丘「エール」 TEL (0572) 22-1155 担当: 学芸員 眞島小津美
お申込 > FAX または 東濃信用金庫各店舗 へお申込ください。

とうしん美濃陶芸美術館 第12回陶芸講座 申込用紙 FAX (0572) 22-1197

氏名	
住所	
電話	()

とうしん美濃陶芸美術館

多治見市虎溪山町4丁目13番地1 とうしん学びの丘「エール」内

TEL: 0572-22-1155

開館時間: 10:00~17:00

休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

入館料: 無料